

第 1 回地域密着型サービス運営委員会議事要旨

1 日 時 令和元年 10 月 2 日 (月) 午後 1 時 30 分から (午後 2 時 25 分終了)

2 場 所 区役所 12 階 123 会議室

3 議事次第

- (1) 開会
- (2) 地域密着型サービスの概要について 【資料 1】
- (3) 地域密着型サービスの事業者整備状況について 【資料 2】
- (4) 地域密着型サービスの利用状況について 【資料 3】
- (4) 地域密着型サービスの事業者候補者の公募状況と補助金制度について 【資料 4】
- (5) その他 【資料 5】
- (6) 閉会

4 配布資料

- 【資料 1】 地域密着型サービスの概要について
- 【資料 2】 地域密着型サービスの事業者整備状況について
- 【資料 3】 地域密着型サービスの利用状況について
- 【資料 4】 地域密着型サービスの事業者候補者の公募状況と補助金制度について
- 【資料 5】 第 2 回墨田区地域密着型サービス運営委員会議事録要旨

5 出欠席者

氏名	所属	出欠
鏡 諭	淑徳大学教授	出
山室 学	墨田区医師会	出
堀田 富士子	東京都リハビリテーション病院	欠
植竹 香苗	墨田区特別養護老人ホーム施設長会	出
濱田 康子	すみだケアマネジャー連絡会	出
小谷 庸夫	墨田区訪問介護事業者連絡会	出
秋山 純子	グループホーム等管理者連絡会	出
佐藤 和信	第1号被保険者	出
廣田 栄子	第1号被保険者	出
村山 厚子	第1号被保険者	出
後藤 隆宏	墨田区福祉保健部長	出

委員長

副委員長

事務局出席者	岩下 弘之	介護保険課長
	藤田 公德	高齢者福祉課長
	澤田 敦子	副参事（介護・医療連携調整担当）
	中山 裕子	介護保険課管理・計画担当主査
	田中 雅美	介護保険課給付・事業者担当主査
	山本 莞爾	介護保険課給付・事業者担当主査
	平岡 進	介護保険課資格・保険料担当主査
	島田 康子	介護保険課管理・計画担当主事
	鈴木 伸司	介護保険課管理・計画担当主事
	鴨野 利彰	介護保険課給付・事業者担当主事
	小田桐真紀子	介護保険課給付・事業者担当主事

6 議事内容

(1) 地域密着型サービスの概要について

事務局から、【資料1】地域密着型サービスの概要について説明。

委員からの意見

団塊の世代の後期高齢者が増えるが、介護サービスの種類も多く、一人暮らしの方には情報が届きにくいかもしれないので、一人暮らしの方の地域密着型サービスの利用状況を分析できないか。また、一人暮らしの方のサービス利用が少ないようなら、見守り相談室などと連携して情報提供などできないかとの意見あり。

事務局回答

個人として特定しなければ問題ないと思うので、資料提供はできる。

(2) 地域密着型サービス事業所整備状況等について

事務局から【資料2】平成30年度の地域密着型サービス事業所整備状況等についての説明。

事務局から、認知デイ、定期巡回が廃止となったことの本質的理由はスタッフ不足及び利用者やケアマネの理解不足が挙げられた。前回は話が合ったが、認知デイは費用負担が高いので、利用者が少ない可能性がある、と説明。

(3) 地域密着型サービス利用実績状況について

事務局から、【資料3】地域密着型サービス利用実績状況について説明があった。

委員長からの意見

小規模多機能型居宅介護について、一事業者の利用が少ない理由について質問。

事務局回答

給付実績から確認すると登録定員25名のところ実人数としては7名で、平均で27日利用されている。他事業所でも、登録定員数29名のところ実人数は19名、月平均は30.8日利用となっている。実人数は低い利用実績は高い傾向にある。ただし、苦戦している事業所については、比較的新しい事業所で、開設後3年以上経過しているが、新たな利用者に対する働きかけが十分されていないということも考えられる。

委員からの意見

「推測の話で申し上げるが」、小規模多機能型の特徴は通い・泊り・訪問の3つのサービスの利用が可能という点だが、(月額制なので)毎日泊り、あるいは毎日通所という人が15人ということになると、それ以上受け入れが厳しいということになる。その点調整が難しい。また、利用者及びケアマネジャーの小規模多機能型居宅介護施設への認識が「施設」と間違っているところもある。その方にあった自立支援プランができると調整ができていく、と話があった。

委員長からの意見

他の小規模多機能型と比べても偏りがあると感じる。中身についてもどういう傾向があるか調べることも必要ではないか。

委員からの意見

居宅サービスや通所型についての定員割れについてニーズがないと考えるのか、利用しやすい状況にないと考えているのか、区としてはどう考えているか。

事務局回答

小規模多機能型の1施設については登録定員の1/3以下と少ない。事務局としては状況を詳細に聞きたいと考えている。

委員長からの意見

一般的にみて、利用者が少ないところは苦戦していると思うが、赤字にならない状況であれば継続していただければと思う。区としても、ある程度サポートしていくという姿勢が必要、経営状況の課題の把握にも努めてほしい。認知症デイ

について、もともと集まりにくいので、ケアマネジャーに情報提供するなど、利用を促すことも必要

事務局回答

認知症対応型通所介護については、昨年と比べると微増の傾向にあると報告。

(4) 地域密着型サービスの事業候補者の公募状況と補助金制度について

事務局から【資料4】地域密着型サービスの事業候補者の公募状況と補助金制度について説明があった。

第7期介護保険事業計画で整備予定の、地域密着型サービスの小規模多機能居宅介護施設については、昨日10月1日より「小規模多機能型介護ともえ」が開設した。

委員からの意見

今回開設されるグループホームはどこにできるのか。重点的地域に設置を促していくということか、補助金はどこからか、と質問。

事務局回答

今回開設は、むこうじま圏域の京島3丁目にできると回答。

重点的地域の場合、他の募集圏域より加算がつくということで設置は促す。緊急整備支援事業の補助は、東京都の補助と回答。

(5) その他

次回開催については、今後の下半期の指定状況、公募状況等に応じて、ご相談させていただきたいと事務局から説明。